

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675200192
法人名	有限会社 福寿
事業所名	グループホーム 小山田の里
所在地	鹿児島県始良市加治木町小山田1419番地1 (電話) 0995-62-7800
自己評価作成日	令和6年1月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

竜門校区にコミュニティができ、その一員として迎え入れていただいております。高齢化が進み同時に独居の世帯が増えている小山田地区ですが地域内の住民の方々はボランティア精神があり地域行事への積極的な参加も盛んです。グループホームへの訪問や地域行事へのお誘いも多く交流が図りやすい地域です。

少子化が進み竜門小学校の存続を地域住民の共通の目標とする事で、児童、高齢者が生活しやすい地域づくりを目指し、働く世代である子育て世代の家族の迎え入れに力を入れています。また、まちづくりプランの計画推進にむけて、様々な関係機関との連携も充実しておりそれぞれが資源であるという同一の考えのもと、コミュニケーションと協力連携で地域との良い関係づくりを図らせていただいております。

事業所内では認知症をテーマにした勉強会を定期的に行うことで、専門職として必要な知識や技術を高められるようともに頑張っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は広い敷地内に小規模多機能ホームに隣接して建てられ、事業所間の協力体制が築かれている。複数の看護有資格者や看護のオンコール体制、かかりつけ医の24時間の医療連携体制により、家族等の意向に沿って看取り介護も実施している。
- ・コロナ禍のため美化作業以外は地域との交流は控えているが、来年度からは地域行事への参加や高校生の実習受け入れを再開予定である。また、利用者が外に出ている時は住民が事業所に連れて来てくれる等、近隣の見守り・協力が普段から行われている。
- ・配食サービスの利用により職員が介護に専念できるようになった他、スライディングボード等も導入し、職員の負担軽減を図っている。また、パート職員の個別面談を実施し、要望を聞く等、職場環境の改善に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日朝礼で理念を声に出し復唱。利用者様のケアは、理念に基づいて実践につなげている。	理念をホールに掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝2ユニット合同の申し送り時に唱和しており、理念に沿って実践しており、毎月ケア会議時にケアを振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナ感染予防のため、地域との関わりを自粛している。少しずつ地域との交流を取り入れている状況である。	自治会に加入し回覧板で地域行事を把握しているが、感染症予防のため年2回の美化作業以外は参加を控えている。来年度から、地域行事への参加や高校生の実習受け入れを再開予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等で地域の方が認知症の介護をするにあたり、困っていることやアドバイスをを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、運営状況、入居者の状況、行事、インシデント、アクシデント等の報告を行っている。色々な意見を参考に取り入れ向上を図っている。	2ヶ月に1回、多目的ホールで対面の運営推進会議を実施しており、事業所の報告及び意見交換を行っている。住民代表の委員等から地域情報を得たり、事業所への理解を得る機会であり、意見をサービス向上の参考にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を通じて地域包括支援センターと連携を図り、情報提供を行っている。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や市に出向いた際に相談等を行い連携を図っている。生活保護担当者とも来訪時の情報交換等で協力関係を築いている。市や商工会の研修に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を開催している。身体拘束防止について職員の理解を深め、拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>指針を作成しており、委員会を3ヶ月に1回、勉強会を年2回実施している。不適切な言葉は会議等で注意を促し、玄関の施錠はせず外に出ていく利用者には敷地内の散歩に同行している。近隣住民が気づいて連れて来てくれることもあり、地域の協力も得て行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止は、職員間で互いに意識し合い虐待防止に努めている。勉強会も実施し、知識向上に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護については学び学習しているが、職員みんなで学ぶ機会はなく、全員の職員が理解しているかは分からない。社会福祉協議会と連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約・重要事項等は本人、家族がわかりやすいように例を使いながら説明を行っている。理解して頂いた上で契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からは、電話や面会時に意見や要望を伺う機会を設け、運営に活かしている。</p>	<p>利用者には日常会話で要望を聞き、数人でのドライブやおやつを一緒に作る等の対応をしている。家族の要望は電話や面会時に聞き対応に努めており、年末頃から家族の要望に沿って居室面会や外出にも取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議等で職員が誰でも意見や提案が出来る場を設けている。必要に応じては面談も行っている。</p>	<p>管理者は、会議等で職員の提案を聞き、業務改善に反映できるように努めている。スライディングボード・シート等の備品を購入し、職員の負担軽減を図っている。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場の環境、勤務状況の悪化に伴い、職員の疲労が多く、特に職員不足で改善が必要である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>人事考課を実施し、職員一人一人の能力を把握し、研修等の案内も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ感染に伴い、同業者との関わりはまだ行えていないが、研修等で今までのつながりがある同業者との関わりは現在も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者とできるだけ話す機会を持ち、困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け声かけを行っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始する前に家族と話し合い、不安や困りごと、要望に対応できるよう努力している。面会時に状態報告を行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の相談等を踏まえ、訪問マッサージや訪問診療、居宅療養指導、訪問歯科等の必要なサービスを導入している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その方に合った言葉かけやお互いがきちんと会話ができるよう間に職員が入り取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族となるべく話す機会を持ち、本人の状況等を一緒に支えられる環境作りを行っている。遠方の家族には、手紙で状況をお知らせしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ感染予防の為、外出を控え、交流を自粛していたため疎遠になりつつある。面会で少しは保たれている。</p>	<p>家族との居室面会や外出が年末頃から可能になり、希望での自宅訪問や墓参り・法事の参加等、馴染みの人や場所との交流を支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の交流やレクリエーションや行事等で交流できる場を設けている。孤立しないようみんなで取り組めるよう支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービスが終了しても、いつでも相談等を受け入れる体制を取り、家族と連絡を取り合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できる限り利用者の希望・要望に添えるよう内容の把握に努めている。困難な時は、本人の表情や様子で意向をくみ取っている。	日常会話で本人の意向を把握できるように努めており、管理者に話を聞いてもらいたいと自分から求める利用者もある。困難な場合は、家族の情報を参考に、表情や仕草等から本人の思いをくみ取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報に今までの生活暦やこれまでのサービス利用の経過等をまとめて職員が把握できるように添付している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケア会議にて支援内容の検討を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議にて色々な意見等を出し、ケアプランに反映している。担当者会議にて家族や本人、必要な関係者と話し合いをする事によってよりよく支援が行えている。	担当者会議で家族と管理者が話し合い、ケア会議の職員意見を加えて介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月～1年毎に計画の見直しを実施している。状況変化等の必要時にも現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌、個別記録に毎日記録している。重要な申し送りは、ノートに記載し、情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて柔軟に対応している。外出のみがコロナ感染の影響にて対応が出来ていない。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民、民生員、消防、ボランティア等の協力を頂きながら支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切に、入所前からのかかりつけ医の関係性を築きながら医療連携を図っている。	契約時に確認し、希望するかかりつけ医の受診を支援している。家族の協力も得てかかりつけ医との連携を図りながら、往診や定期受診、他科受診、緊急時等の適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携や看護師同士密に情報共有を行い、適切な受診を受けられている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には、情報提供書を提出し、環境の変化に対応を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に重度化指針の説明を行い、同意書を得ている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書を得ている。重度化等の場合、家族と管理者または看護師が同席して医師から説明を受け、家族の意向を確認している。その後、看取り介護について説明し、同意書を得て支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員が事業所マニュアルに沿って対応できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防隊員の立ち会いのもと訓練実施している。2月の消防訓練から地域の方々に参加して頂き共存共栄を図っていく。</p>	<p>年2回昼夜想定避難訓練を実施し、1回、消防署の立ち会いを受けている。代表が消防団員で地域との協力体制を築いており、地域への声掛けは来年度から再開予定である。今後、土砂災害の避難訓練を実施予定である。非常用の備蓄は、1週間分の水・米・レトルト食品・缶詰等の食料及びガスコンロ、蓄電池を確保している。地域の福祉避難所となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の関係性を通じ、状況に合わせた声かけを行っている。個人情報の守秘義務にも努めている。	研修を実施し、個々に応じた言葉かけを行っており、排泄・入浴介助時は羞恥心にも配慮した声かけ・対応をしている。申し送りはデッキで行い、利用者に内容がわからないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症の関係もあり自己決定は難しい場合もあるが、利用者本人が選択できるように言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の人数に限りがあり、どうしても職員側の都合を優先しがちである。本人に尋ねる事が少ない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた洋服や定期的な散髪、持っている洋服でおしゃれして外出を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒におやつ作りを行ったり、利用者に味見をしてもらったりしている。お茶碗拭きのお手伝いも積極的に取り組んでいる。	副食は配食サービスを利用し、事業所でご飯と味噌汁の調理や、刻み・ミキサー食への加工をしている。利用者も一緒に茶碗洗いをしたり、おやつを作っている。誕生会のケーキや手作りの行事食も提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量は毎日把握し、食事形態や飲み物の工夫を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人に合ったブラシを準備し、清潔を保てるよう口腔ケアを行っている。訪問歯科にて指導・助言を頂き支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄は、できるだけトイレで行えるよう定期的にトイレ誘導を行っている。パットに極力汚染がないよう努めている。	日中はトイレでの排泄を基本に支援している。定期的な声掛け誘導で、排泄の失敗やパットの使用量減少が図られた事例がある。適切な排泄用品の使用について、外部講師による勉強会を計画している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲み物に牛乳、食べ物にヨーグルト等で便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>本人の体調に合わせて入浴状況を変更。女性限定の利用者には女性職員が対応している。</p>	<p>週2回の入浴支援を実施し、リフト浴も行っている。希望や身体状況等に応じて、同性介助や2人介助を実施し、入浴を楽しんでいる。汚染時は陰洗やシャワー浴で保清に努めている。嫌がる場合も気分を見て2人介助で入浴できている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>本人のその日の体調や夜間の睡眠時間等を考慮し、休む時間を設けている。声かけも実施。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全員の薬の把握は出来ていないが、その都度主治医と連携を図り確認・対応を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人に合ったレクリエーションを提供し、意思決定が出来るよう努めている。レクリエーションもみんなで楽しく参加できるよう雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ感染の影響にて外出支援があまり出来ていない。感染状況をみながら外出する機会を増やしていく。</p>	<p>天候の良い日は敷地内の散歩をしている。敷地内での花見や希望でドライブに出かけている。家族の協力で法事や墓参り・自宅訪問などの外出もしている。来年度は年間計画を作成し、感染状況を見ながら外出支援に取り組む計画である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者がお金の管理を行っている方がおらず、職員や家族が購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が伝えられる場合は、電話で家族と話ができるよう対応を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合った花を生けたり、飾り付けを行ったり、空調の設定等も行っている。</p>	<p>リビングは空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境に調節し、窓を開けて換気も行っている。活け花や季節の飾り付けをしている。利用者間の関係性を考慮してテーブルの配置を工夫している。利用者は思い思いにソファで日光浴をしたり、デッキでくつろいでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の意向に沿って自室で過ごす時間を設けたり、自由に行き来出来るよう居場所の工夫を行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今まで使用されていた布団や生活用品をそのまま持ち込んで頂き、写真や頂いた物を居室に飾り喜んで頂けるように支援している。</p>	<p>居室にはベッドやクローゼット・エアコンが備えてある。本人がこれまで使っていた寝具やダンス・仏壇を持ち込んだり、遺影や写真・ぬいぐるみを身近に置き、安心して過ごせる環境にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室には個別の表札（写真）を取り付け、分かるようにしている。トイレの場所が分かるよう表示している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない